

社会的な課題をテーマとした講座

仏像に親しむ 祈りのかたちを 読み解く

令和8年

3/14

土

10:00～12:00

本講座では、仏像を単なる美術品としてではなく、長い歴史の中で人々が苦しみや悩みの中から生み出した「祈りのかたち」として捉え、現代を生きる私たちの心を豊かにする知恵を学びます。

前半は「仏像のルーツと宗派」を辿ります。古代インドでの誕生から日本への伝来までを概観し、奈良仏教、密教、禪、法華、浄土といった各宗派における仏像の役割や位置づけの違いを分かりやすく解説します。

後半は「身近な仏像」に焦点を当てます。極楽浄土へ導く阿弥陀如来、変幻自在な救済者である觀音菩薩、道端で人々を見守る地蔵菩薩。それぞれの信仰の起源と日本独自の発展を紐解き、現代社会において、仏像が果たす役割についても紹介します。



講 師

君島 彩子 氏
和光大学表現学部講師

場 所

相模原市橋本公民館 大会議室
JR橋本駅・京王相模原線下車 北口駅前すぐ

対 象

相模原市内在住・在勤・在学の方
※小学生以下の方は保護者同伴でご出席ください

定 員

60名 申込み順

申込み

2月19日（木）から
市民大学WEBサイトまたは裏面申込用紙をFAXにて
※定員になり次第締め切ります

主催:相模原市教育委員会 生涯学習センター

協力:和光大学

運営:公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム



詳細・申込みはこちらから